

令和4(2022)年度 看護職員就業実態調査 (病院)

<令和5(2023)年4月実施>

令和4(2022)年度 結果概要

看護職員の離職状況について

- ・常勤看護職員の離職率は 13.9%、前年度は 13.3%で 0.6ポイント増
- ・新卒新採用常勤看護職員の離職率は 11.1%、前年度は 11.4%で 0.3ポイント減
- ・常勤看護職員のうち、
通算経験3年目の離職率は 19.0%で前年度から0.7ポイント減
通算経験5年目の離職率は 21.7%で前年度増減なし
- ・退職理由*は、多い順に 本人の心身不良(14.2%)、転居(10.7%)、家族の介護/結婚(5.4%)
*その他・不明を除く
新卒新採用者の退職理由で最も多いのは 本人の心身不良(44.3%)
- ・二次医療圏別の看護職員の離職状況について
常勤看護職員離職率は、高い順に 県央(15.7%)、湘南東部(15.5%)
新卒常勤看護職員の離職率は、高い順に 湘南東部(14.4%)、川崎(12.9%)

【今年度調査に関する補足】

令和4年度の新型コロナウイルス感染症の流行状況は、第6波が徐々に収束したものの、7月～9月頃に第7波、11月～1月頃に第8波と再び感染が拡大した。高齢者を中心に第7波、第8波時の死亡者数は第6波を超えたものの、緊急事態宣言発令等はなかった。

I 調査方法及び概要

1. 調査方法

- (1) 調査目的 : 看護職員就業状況について実態を把握し、今後の施策に活用する
- (2) 調査対象 : 神奈川県内の病院 336施設
- (3) 対象期間 : 令和4(2022)年4月1日～令和5(2023)年3月31日
- (4) 回答数 : 234施設 有効回収率69.6%(昨年度回収率65.8%)
- (5) その他 : 図及び統計表の数値は少数第二位を四捨五入しているため項目の和と計の値は必ずしも一致しない
: 未回答等のため設問により回答数が異なる場合がある

2. 回答状況等

病床数	施設数(a)	回答施設数(b)	回収率(b/a)	回答施設割合 (b/回答施設総数)
20～99	86	56	65.1%	23.9%
100～199	109	69	63.3%	29.5%
200～299	55	40	72.7%	17.1%
300～399	42	30	71.4%	12.8%
400～499	20	17	85.0%	7.3%
500以上	24	22	91.7%	9.4%
合計	336	234	69.6%	100.0%

二次医療圏	施設数(a)	回答施設数(b)	回収率(b/a)	回答施設割合 (b/回答施設総数)
横浜	132	87	65.9%	37.2%
川崎	39	33	84.6%	14.1%
相模原	35	23	65.7%	9.8%
横須賀・三浦	29	21	72.4%	9.0%
湘南東部	25	17	68.0%	7.3%
湘南西部	21	14	66.7%	6.0%
県央	32	24	75.0%	10.3%
県西	23	15	65.2%	6.4%
合計	336	234	69.6%	100.0%

R4.4.1時点の就業人数	44,511
R5.3.31時点の就業人数	42,404
平均看護単位	7.87
平均勤続年数	8.09
R5.3.31時点の看護補助者人数	9,158